

アイリス Letter

保護者の皆様へ

2021年9月30日発行
第5号
広島女学院中学高等学校



聖書のことば

さて、イエスは目を上げ弟子たちを見て言われた。

「貧しい人々は、幸いである、
神の国はあなたがたのものである。
今飢えている人々は、幸いである、
あなたがたは満たされる。
今泣いている人々は、幸いである、
あなたがたは笑うようになる。」

ルカによる福音書 6章20～21節

2学期は、コロナ感染症対策の緊急事態宣言下に始まりました。授業は、時間割通りに行うことができました。しかし、放課後の部活動は原則禁止となり、夕方の学校はさびしいものとなりました。また、行事も延期・中止となり、生徒の元気いっばいの姿を観ることもできない状況でした。その中、生徒・保護者の皆さまの協力のおかげで、休校の措置を取ることなく、宣言明けを迎えられることを、本当に感謝いたします。

10月からは、いよいよ放課後の活動ができます。生徒にとって、部活動などができることの意義はとても大きく、きついことやうれしいこと、たくさんの経験を思う存分やり遂げてほしいと思います。

保護者の皆さまにおかれましては、今年度も文化祭の一般公開がないなど、例年のような活動ができず、大変不自由なPTA活動となっていると思います。しかし、何を置いても、生徒が安心して一日を過ごすこと、そしてその歩みが成長につながるものとなるために、支えてくださるご家庭があることが大変貴重なのです。学年、学級、各地区がつながり合い動いていくことが難しい状況ですが、コロナ禍の後、PTA活動もより豊かなものにしたいと思っております。

さて、イエス様は、貧しい人、飢えている人、泣いている人が幸いであると言われました。確かにコロナ禍の中、当たり前ができず、泣くこともあると思います。しっかり考えたいことは、何を貧しいと感じ、何に飢え、何を泣いているかということです。コロナ禍の後に、より安心できる生活となるように、それを創っていくように、子供たちの力を伸ばしていきたいと思っています。

(校長)



夏のオープンスクール

延期されていた『るんるん♪女学院』を7月23日(金)に無事に開催することが出来ました。

当日は感染対策の一つとして各教室に入れる人数を制限するため抽選となり、当選確率およそ2倍の狭き門となってしまいました。

1学期のEP『めざせJA』の生徒を中心に、多くの生徒の協力のもと、当日のおもてなしができたのではないのでしょうか。ホールプログラムの進行は小学生の心をつかみ、生徒が企画制作したクイズ大会では女学院の事を楽しく学べたとの意見がいただけました。そして大好評だった吹奏楽部の演奏。来てくださった方々は口をそろえて、久しぶりの生演奏にとっても感動したと言ってくださいました。体験プログラム毎に行った校内ツアーは、大変な猛暑の中、それぞれの生徒が女学院の良さが伝わるように一生懸命説明している姿が印象的でした。

8月3日(火)、4日(水)には全4回の日程でミニ学校見学会を行いました。10組ずつの親子という少人数制で、どの方々も熱心に話を聞いてくださり女学院の魅力をしっかり伝えることが出来たのではないかと思います。

(広報部)



8・6 平和記念礼拝 (被爆 76 周年)

毎年8月6日午後にはゲンスホールで行われる8・6平和記念礼拝は、コロナのため各家庭でのオンライン視聴となりました。

広島市平和記念式典の一部を視聴し、8時15分の黙禱に続いて、中学YWC A部のハンドベルの前奏、金信美幸先生(本校聖書科講師、同窓会幹事)のメッセージ、高1のN. Nさんによる追悼のことばなど、女学院の生徒・教職員350余名と原爆犠牲者を追悼し、平和を祈る礼拝を捧げました。

金信先生は、礼拝直後に被爆した女学院専門学校1年生の様子を話して下さり、最後に「私たちも小さくても、平和の種をまき続けるものとなれますように」と祈られました。



なお、このオンライン礼拝は、卒業生や例年8・6来校し礼拝に参加される学校の生徒さんも視聴可能として、ホールに集えないながらも、遠くの人々とも平和への祈りを分かち合うことができました。

また、午前中の同窓会主催の平和祈念式でも、高1のN. Nさんが追悼の言葉を述べ、式の中で中学生が平和を祈る週に作成した千羽鶴を捧げました。

(宗教教育委員会 刀祢館 美也子)



Peace Forum 2021

8月7日、Peace Forumを開催しました。このフォーラムは13年前、ハワイのプナホウスクール（オバマ前大統領の出身校）と本校の小さな交流会としてスタートしました。今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、初のオンライン開催とし、120名ほどの参加者をお迎えしました。残念ながらハワイからの参加者はありませんでしたが、沖縄尚学、創価、玉川聖学院、関西創価、関西学院、盈進、武田、長崎東高校の生徒・先生方にご参加いただきました。

フォーラムの前半はプナホウスクールの元日本語教師で被爆二世であるピーターソンひろみ先生に、Peacebuilder（平和を築いていく者）をテーマに講演をしていただきました。先生のお話から、多視点から歴史を見ることの大切さを学びました。アメリカの原爆観や日本の加害者としての側面から目を背けず、向き合おうと思いました。

後半は「コロナ禍で高校生が平和のためにできること」をテーマとして、事前に各学校が作成した動画についての質疑応答をしました。動画の中ではARの技術を用いてアプリを作ったり、折り鶴の折り方動画を作成したりとそれぞれの学校で異なった平和の発信方法が紹介されていました。そのため、当日の質疑応答では各学校が行っている平和の発信方法についての質問が多くでした。

今回、参加校の取り組みに刺激をもらうことができたので、2学期以降はこのフォーラムで学んだことを参考にして、平和はもちろん、グローバルな問題に対してアクションを起こしたいと思います。

(高2 Global Issues 選択生)

保健室だより（5）

10代の新型コロナウイルス感染が急増し、2学期の登校への不安が大きくなりましたが、県内の感染者数も少し落ち着いてきたように思います。

9月初旬に、学校薬剤師による教室の二酸化炭素濃度検査を実施し、全ての教室において、換気が十分にできていると判断されました。暑い日や肌寒い日も、『常時換気』を意識している生徒のみなさんのおかげです。同じ教室内でも窓際とエアコン直下では、体感温度に大きな差があり、お腹を下して保健室に来室する生徒も多く見られます。

また、蒸し暑い夏から、徐々に涼しくなる今は、寒暖差のストレスで多くのエネルギーを消耗しています。

10月1日から制服も冬服に変わりますので、衣服の着脱により各自が調節できるようご準備をお願いします。

(保健室)



心の健康（５）

秋たけなわの10月は気候がいいので、学校でも町内でも行事が多くなります。行事に参加すると、どうしても他の人に気を使い、人間関係のことで頭がいっぱいになります。人との交流は楽しいし喜びを感じ、やる気が出てきます。また体を動かし行動することが多いので、充実感や満足感を得ます。だけどそれだけでなく、とても疲れます。心も体も疲れます。



活動の後には休息を！外の世界に心を向け行動した後には、静かに自分の内面に向かい合う。この活動と休息のバランスに配慮したい10月です。

中・高生は家庭でいろんな姿で疲れを示し回復しようとします。寝てばかり、ダラダラしたり、イライラしたり、やたら食べたり、喋りまくったり、と。大人は慌てないで、バランスの視点を持つことで状況を理解していきましょう。 (カウンセラー)

生徒の活躍

◇吹奏楽部

第62回広島県吹奏楽コンクール
高等学校小編成部門 銀賞 中学校A部門 銀賞



◇中学合唱部

第60回広島県合唱コンクール 金賞
第88回NHK全国学校音楽コンクール 広島県コンクール 銀賞

◇高校新体操部

令和3年度全国高等学校新体操選手権大会 出場 団体 39位

◇中学新体操部

令和3年度中国中学校新体操選手権大会 出場 団体 4位

◇高校水泳部

競泳県新人戦（9月25日(土)・26日(日)）

団体 400mメドレーリレー 8位入賞 個人 1-E T. K 100m平泳ぎ 8位

泳者（泳順） 1-E T. K 200m平泳ぎ 8位

1-C N. K

1-E T. K

1-A K. K

1-A T. K

◇広島県高校生韓国語スピーチ大会

銀賞 2-E F. R

駐広島大韓民国総領事館賞 2-E G. Y



今月の聖句

イエスは、「わたしの母、わたしの兄弟とはだれか」と答え、周りに座っている人々を見回して言われた。「見なさい。ここにわたしの母、わたしの兄弟がいる。」

(マルコによる福音書 3章 33～34節)

イエスは母や兄弟姉妹が訪ねてきた時に、「私の母、兄弟姉妹とは誰か。ここに私の兄弟姉妹がいる。」と答えられました。これは、血の繋がった家族に対して冷たい言葉のように聞こえます。しかし、イエスは私たちに大きな視点の転換を迫っているのです。私たちは「自分さえ良ければいい、自分の家族さえ良ければいい、自分の国さえ良ければいい。」と、いつの間にか、隣人の範囲をかぎってしまいがちです。

人は自分に近い人ほど大切にする、それを全て否定はできませんが、イエスは血の繋がりのない人たちを「兄弟姉妹」と呼びました。

『僕はイエローでホワイトでちょっとブルー』の著者ブレイディみかこさんが、英国では中学生から学校で教えられている「エンパシー」という言葉を紹介しています。「エンパシー」とは、自分とは違う他者の感情や経験などを理解する能力のことです。「シンパシー＝共感」とは誰かをかわいそうだと思う自然と湧き出る感情のことですが、「エンパシー」とは意見が違い、感情的に共感できない相手であっても、その立場に立って考えられる能力を指し、訓練によって身につけられる、そして他者を理解することは、自分が大切にされる社会を作ることにもつながるといいます。それはまさしくイエスの「隣人を自分のように愛する」教えにつながる女学院が大切にしている教育の根幹であり、聖書の授業やPSの目指しているものなのです。

(9月13日 高校礼拝より 聖書科 T.M)

10月の行事予定

1	金	創立記念日
2	土	45分授業 創立記念特別礼拝 (総) 保護者対象入試説明会 秋のオープンスクール
3	日	
4	月	
5	火	金曜日授業
6	水	[NC][EP]
7	木	中1バイク'ルデーキャンプ(1限～3限) 遠足:中3・高1・高2 自宅学習日:中2 高3駿台ベネッセ記述模試
8	金	中2チャレンジキャンプ 遠足:中1・高3 自宅学習日:中3・高1・高2
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	7限 高1PTS(選択科目)
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	3限 高2PTS(選択科目) 秋のオープンスクール 保護者対象入試説明会 (L・総)
17	日	
18	月	
19	火	中間テスト(高2・3)
20	水	(中2・3、高1) 1限8:55～ 中1木曜授業
21	木	(中1) 1限8:55～15分休憩
22	金	1限8:55～15分休憩
23	土	(L・総)
24	日	高1・2駿台全国模試(希望者)
25	月	中3 中学総合模試(午前)
26	火	
27	水	[NC]
28	木	45分授業(午前) 第2次スクリーニング(午後)
29	金	
30	土	高3駿台ベネッセマーク模試
31	日	

NC・・・ノークラブデイ

※行事予定は変更になることがあります

